

ミニ大学の発表者を募集！

2008年から毎年、関西エスペラント大会の分科会で「エスペラント・ミニ大学」を開催し、ご好評をいただいているます。

(写真は昨年のミニ大学→)



6/23-24 開催の第60回関西大会(19ページ参照)でもミニ大学の開催を予定していますので、ミニ大学でエスペラントの発表を行なう方を募集しています。10分程度の小発表も歓迎です。発表していただけの方は、森川(下記)までご連絡ください。

★ La Harmonio 次号 (232号)

5月発行予定。原稿締切は4月30日(月)です。皆さんの原稿をお待ちしています。

★ La Harmonio の電子ファイル

本誌 La Harmonio の PDF ファイルは、どなたでも次の URL アドレスからダウンロードできます。なお、RHの維持のため、RH会費を納入いただければ幸いです。

http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

La Harmonio 231号 2012年2月18日発行
編集発行 Rondo Harmonia (国際語教育協議会)

*組織委員会書記局・La Harmonio 編集部・財務担当

〒618-0071 京都府大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳

FAX 075-955-1627 電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

*ホームページ <http://esperanto.jp> 電子メール oficejo@esperanto.jp

*RH会費(会計年度 1月1日から12月31日まで)

◇RH会員お一人の場合

RH維持会費 (La Harmonio 電子版) 1,200円

RH維持会費 (La Harmonio 印刷物郵送) 2,400円

◇ご夫婦ともRH会員の場合

RH維持会費 (LH 電子版) + 家族会費 1,800円 (1200+600)

RH維持会費 (LH 郵送) + 家族会費 3,000円 (2400+600)

*会費払込先 郵便振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」

または 楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」

Febrero 2012

La Harmonio

N-ro 231

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia

<< 目次 >>

★ 2012年RH活動報告 2~6 ページ
財務、La Harmonio、ホームページ

★ マンフレッド達が来た日 7 ページ
ドイツからのお客様がねこの手
ハウスを訪問。
山口百合子さん(横浜)

★ 中国四国エスペラント 8~10 ページ
大会に参加して
2011年11月、岡山県総社市で開催。
糸島治さん(岡山)

★ 「元青年」がすべきこと
— IJK日本開催辞退を受けて 11~12 ページ
今泉久典さん(岩手)



Drako estas la
animalo de la jaro
2012 laŭ la antikva
ĉina kalendaro.



2012年はエスペラント
発表125周年です。
(17ページを参照)

★ エスペラント生活の近況 13~16 ページ
日常語としてのエスペラントについて
綿貫健一郎さん(ポーランド/日本)

★ エスペラント発表125周年活動 17 ページ
森川和徳さん(京都)

★ エスペラント界の行事 18~19 ページ

財務報告 Financo

担当 森川 和徳

1. まとめ

- (1) 会費値下げ（電子版会費が 2400 円から 1200 円）により、2011 年の会費納入者は前年比 16 人増え、77 人であった。2012 年会費もすでに 59 人が納入。これは大きな成果である。
- (2) 2011 年の収支は 1055 円の赤字だが、予算よりも赤字額は小さい。この赤字は累積余剰金で処理する。

2. RH会費納入者数

納入時期	1989	1994	2007	2008	2009	2010	2011	2012
2010-12-31 まで	136	100	70	70	65	61	49	21
2011-12-31 まで							28	36
2012-02-10 まで								2
計	136	100	70	70	65	61	77	59

3. 2011年度（2011年1月～12月）の決算

	会費(円)	予算		決算	
		人	(円)	人	(円)
収入	一般会費（電子版）	1,200	50	60,000	45
	一般会費（郵送版）	2,400	20	48,000	20
	家族会費	600	10	6,000	12
	カンパ		0		283
	計	114,000		109,483	
支出	La Harmonio 発行費用（注1）	70,000		67,038	
	インターネット・ドメイン維持（注2）	27,615		27,615	
	関西大会・RH 主催分科会費用	5,000		3,000	
	2011～2013 年組織委員選挙費用	8,000		7,850	
	財務局経費	5,000		3,635	
	2011 年 3 月全国協議会会場費	1,400		1,400	
	計	117,015		110,538	
	差し引き（余剰金）	▲3,015		▲1,055	

★ 第 60 回関西エスペラント大会

La 60a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo

期日：6 月 23 日(土)～24 日(日)

会場：クレオ大阪東（大阪市城東区）

内容：第 60 回記念企画で、エスペラント歌詞コンクールを実施。

★ 第 97 回世界エスペラント大会（UK）

La 97a Universala Kongreso de Esperanto (UK)

期日：7 月 28 日(土)～8 月 4 日(土)

会場：ハノイ（ベトナム）

ウェブページ <http://www.97uk-hanojo.com/index.aspx>

★ 第 68 回国際青年エスペラント大会

La 68a Internacia Junulara Kongreso (IJK)

期日：8 月 5 日(日)～11 日(土)

会場：ハノイ（ベトナム）

ウェブページ

<http://ijk-68.hanojo.org/index.php?>

※開催地の変更

本号 11～12 ページの記事のとおり、開催地が天理市（奈良県）からハノイに変更になりました。TEJO（世界青年エスペラント機構）が昨年 12 月 26 日にウェブページで日本での開催中止を発表し、3 週間後の 1 月 18 日にはベトナムでの開催を発表しました。

ハノイでは、2007 年の第 63 回国際青年大会、2010 年の第 29 回 Komuna Seminario が開催されており、大会運営の経験は十分でしょう。

★ 第 99 回日本エスペラント大会

La 99a Japana Esperanto-Kongreso

期日：10 月 6 日(土)～8 日(月, 祝日)

会場：北海道民支援センターかでる 2・7（札幌市中央区）

ウェブページ

http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jek99/2012-10_jek99_sapporo.html

案内・参加申込書(PDF 660kB)

http://jei.or.jp/hp/materialo/dua_info_JEK2012.pdf

エスペラント界の行事

エスペラントの全国講習会や展示会等の最新情報がインターネットで公開されています。お近くのイベントをご確認ください。

<http://jei.or.jp/informo/>



※行事の詳細を知りたい方は
編集部までお問い合わせ
ください。

★ 第30回八ヶ岳合宿

La 30a Renkontiĝo en Esperanto-Domo de Yatugatake

期日：4月21日(土)～22日(日)

場所：八ヶ岳エスペラント館（山梨県北杜市長坂町）

案内・参加申込書(PDF 170kB)

http://jei.or.jp/hp/materialo/yatugatake_2012.pdf

参加費：5500円（参加費+滞在費+夕食+朝食）

★ 第45回エスペラントセミナリーオ

La 45a Esperanto-Seminario, Tokio

期日：5月3日(木)～5日(土)

会場：YMCA アジア青少年センター（東京都千代田区）

案内・参加申込書(PDF 450kB)

http://jei.or.jp/hp/materialo/E-Seminaro2012_B.pdf

★ 第60回関東エスペラント大会

La 61a Kantoo-Esperanto-Kongreso

期日：6月16日(土)～17日(日)

会場：箱根路開雲（神奈川県足柄下郡箱根町）

ウェブページ

<http://sites.google.com/site/kantooesperantorenmei/>

内容：関東エスペラント連盟主催の大会。

注1) La Harmonio 発行費用 (226～230号、5号分)
229号は同窓会員を含め 352 人に送付。
印刷・製本費（インク、紙、製本）26,822円
発送費 40,216円

注2) インターネット・ドメイン維持
レンタルサーバー使用料 23,940円
ドメイン (esperanto.jp) 更新費用 3,675円

4. 2012・2013年度の予算

- La Harmonio 4号発行のうちの1号を、電子版会員や同窓会員を含めた全員（約350人）に送り、会費納入を依頼していく。
- 2012年や2013年に組織委員選挙や全国協議会の開催がないので、その費用を計上していない。
(次回の組織委員選挙や全国協議会 2014年に実施予定)

収入	会費(円)	人	(円)
	一般会費（電子版）	1,200	50
	一般会費（郵送版）	2,400	20
	家族会費	600	10
		計	114,000
支出	La Harmonio 発行費用 (4号分)		70,000
	インターネット・ドメイン維持（注1）		27,615
	関西大会・RH 主催分科会費用		5,000
	財務局経費		5,000
		計	107,615
		差し引き	6,385

注1) インターネット・ドメイン維持
レンタルサーバー使用料 23,940円
ドメイン (esperanto.jp) 更新費用 3,675円



Krajonoj

La Harmonio 発行

担当 森川 和徳

1. 2011年度の実績

号	発行月	頁数	郵送	主な内容（敬称略）
226	2月	20	郵送版 会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 2011年RH組織委員選挙立候補受付 * 関西大会のミニ大学の発表内容 <i>Tergloba Medio kaj Energio</i> (大澤孝明) * 日本一大きい書店のエスペラント図書 (森川和徳)
227	4月	20	郵送版 会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 東日本大震災について * 2011年RH全国協議会の案内 * RH組織委員立候補者選挙公報 * JEI 中級セミナーに参加して (山本美郷) * 関西大会のミニ大学の発表内容 <i>Kiamaniere konservi datumojn longatempe?</i> (森川和徳)
228	7月	24	郵送版 会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 2011年RH全国協議会の報告 * 3月11日、その後 (今泉久典) * <i>Renkontiĝo kun Esperantistoj en Udino</i> (片山浩子) * ウェブ版実用エスペラント小辞典のiPhone 対応 (広高正昭) * 長すぎる余談、ねこの手「脳トレエスペラント部」発 (山口百合子) * 「どっこい生きてる」RH有志同窓会 (小西悟)
229	8月	8	全員(注)	<ul style="list-style-type: none"> * RHの活動 * エスペラント界の情報 * エスペラント界の行事

エスペラント発表 125周年活動

森川 和徳 (京都)

国際活動 Projekto "Esperanto125"

今年(2012年)は、ルドヴィコ・ザメンホフがエスペラントの第一書(*Unua Libro*)を発行してから125周年にあたります。

国際エスペランチスト教育者連盟(ILEI)を中心として Projekto "Esperanto125"という計画が立ち上がり、世界各国でエスペラント125周年を盛り上げようという活動が進んでいます。



欧米では25周年や125周年を祝うことは珍しくありませんが、日本ではなじみがありません。私個人もエスペラント125周年に消極的でした。しかし、右上の「125周年ロゴ」(昨年10月)のデザインは気に入り、ロゴを会誌やビラに載せるだけでもよいのではないかと考え、Esperanto 125活動を日本でも進めています。

125にちなんだこと

皆さんも125周年にちなんだことをやってみませんか。できる範囲で結構ですので。

エスペラントを勉強すること自体も125周年を盛り上げます。例えば、エスペラントの本を125ページ読むこと、エスペラントの短文を125編書くこと、エスペラント俳句を125句作ること、日記をエスペラントで125回書くこと、エスペランチスト125人にあいさつすること、エスペラントについて125人に知らせること、など。

Esperanto125関連ウェブページ

国際活動 Projekto "Esperanto 125" (エスペラント)
http://uea.org/vikio/Projekto_125

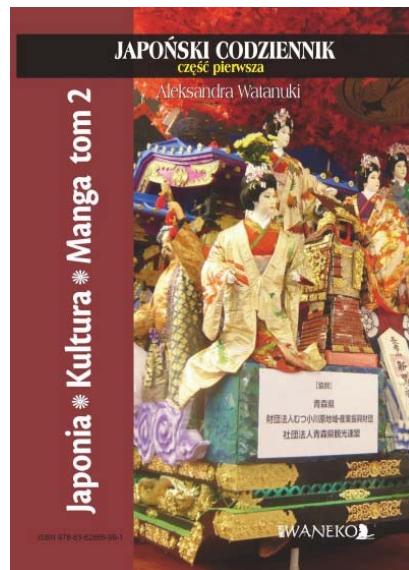
国内のエスペラント発表 125周年活動 (日本語)
http://www.jei.or.jp/evento/2012/eo125_jp.htm

(終)

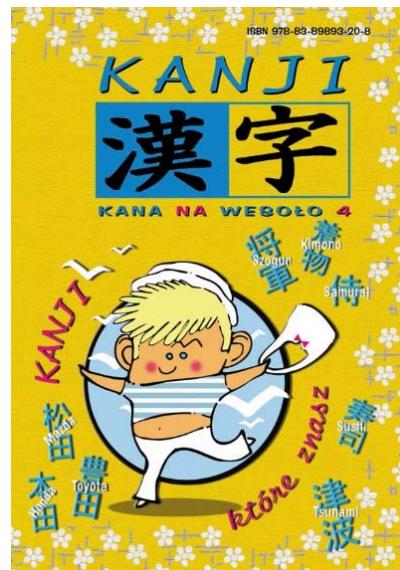
paczki.になります。yakitori も paczki もエスペラントでもちろん言えますが、冗長になってしまいます。これらのことばを知らないエスペランチストにはちゃんとそう言う必要がありますが、お互に通じる場合には、どうしても易きに流れてしまう傾向があるのは否めません。

口から発していることばの全体としてはエスペラントなのですが、部分部分に現地語の単語が入り混じってしまいます。悪く言えば、自分のエスペラントは崩れている、と言えるかもしれません。実際、エスペラントだけで話そうと思うと変に苦痛を感じてしまいます。

という訳で、誠に怠け者のエスペラント生活者です。



『普段着の日本』
アレクサンドラがブログで連載した日本滞在日記を最近、本にまとめて出版しました。



『楽しい漢字』
漢字を面白楽しく紹介した本ですが、自分がエスペラントで下書きをし、マルティーナがポーランド語訳し、まとめました。

(終)

号	発行月	頁数	郵送	主な内容（敬称略）
230	11月	28	郵送版 会員のみ	*ミニ大学の発表内容 Budhostatuo—Aṣura (竹森浩俊) *Miaj Notoj pri UK (山本美郷) *ジョナサン・ジョーンズ教授を奈良に迎えて (大澤孝明) *日韓共同開催エスペラント大会・開会式での祝賀演説 (やましたとしひろ) *日韓共同開催大会

※連載 エスペラント界の行事、国内・海外情報 (森川和徳)

注) 電子版会員やR H同窓会員を含む、352人に郵送した。

2. 2012・2013年度の発行計画

年	月	号	頁	郵送	主な内容
2012	2	231	—	郵送版 会員のみ	本号
	5	232	—	郵送版 会員のみ	ミニ大学の発表内容
	8	233	8	全員(注)	R Hやエス界の情報。 一般の原稿は募集しない。
	11	234	—	郵送版 会員のみ	ミニ大学の発表内容
2013	2	235	—	郵送版 会員のみ	2012年の活動報告
	5	236	—	郵送版 会員のみ	ミニ大学の発表内容
	8	237	8	全員(注)	R Hやエス界の情報。 一般の原稿は募集しない。
	11	238	—	郵送版 会員のみ	*214～216年R H組織委員立候補受付
2014	2	239	—	郵送版 会員のみ	*214～216年R H組織委員立候補者の選挙公報

注) 電子版会員やR H同窓会員を含む、300人以上に郵送する。

ホームページ Retpaĝo

担当 笹沼 一弘

【1】2011年度の活動報告

○ドメイン管理について

- ワダックス社と契約して、「ESPERANTO.JP」の管理・運用を継続中。年間費用は約28,000円。

URL

<http://www.esperanto.jp/> または <http://esperanto.jp/>

メールアドレス

oficejo@esperanto.jp

○ドメイン運用について

- 問合せ等のメールはなし。スパムメールもほぼ0。
- ホームページについては、現在掲載している情報は次の通り。

2010年度から変更なし。

*リンク集（主要団体・地方会等）

*各種情報（図書、メールマガジン・メーリングリスト）

*RHの紹介（案内・会則）

*ネット学習（リンクを含む）

*エスペラントミニ大学（発表資料（PDF））

- 会員専用のページ（RH-informiloj, Arkivo de La Harmonio）は、引き続き、トップページからリンクをはらずに運用している。

【2】2012年度の活動予定

○ドメイン管理について

- 当面は現在の体制を継続。

○ドメイン運用について

- 現状の内容で、必要に応じて更新していく。リンクの確認、ミニ大学の新しい資料の追加など。
- メールアドレス（画像）の設定、La Harmonio 最新号へのリンクなども検討中。

(終)

それ以外にエスペラントで文章を書くのは、個人的なメールが主で、これは皆さんも同様だと思います。エスペラントで書かれたちゃんとしたものを見ることはほとんどありません。どうもエスペラントの普及活動にはあまり積極的にならず、文学を読み下すには、自分の単語力がお粗末すぎる、というのが正直なところです。いわゆるエスペラント界との付き合いもほとんどありません。

あえて開き直った言い方をすれば、自分の中では、エスペラントと日本語はほとんど同じレベルに位置しているのかもしれません。日本語もただ使っているだけです。メールや仕事上必要なことは、書きますが、別に小説を書く訳ではありません。エスペラントでも同じ事なのです。だから、日本語もエスペラントも一向に上達しません。

つまり、エスペラントをほぼ毎日使ってはいるものの、話すことばとしてがほとんどで、しかもその相手はほぼ二人（連れ合い+仕事上のパートナー）に限られています。こういう有様なので、どうも自分のエスペラントはピジン化しているのでは、と最近思うようになりました。

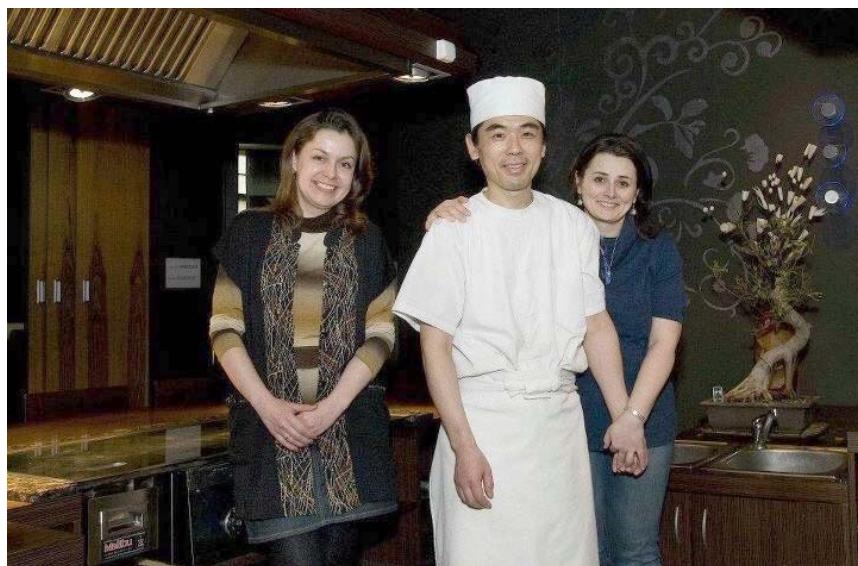
- 1) mia edzino → ポーランド人、日本語流暢
- 2) labora partnero → ポーランド人、日本語不可
- 3) mi → 日本人、ポーランド語まあまあ

自分が連れ合いと話す時、日本語やポーランド語で話せないこともない。ただ、エスペラントの方がやはり楽です。また、自分が職場のパートナーと会話する際も、ポーランド語オンリーにできなくもないが、エスペラントにしてしまった方が正確に伝わる。同時に、ポーランドなり日本なりの生活でふだんよく使われる日常語のレベルになると、エスペラントよりも現地語で言ってしまった方がてつとり早くなるわけです。

例えば、「今日は焼き鳥を食べに行こう。」は *Hodiaŭ ni iru mangi yakitori.* になってしまいます。あるいは、ポーランド人なら誰でもしつている揚げドーナツに *paczki*（ポンチキ、複数、主格・体格）というのですが、「ポンチキを買ってきた。」は *Mi aĉetis*

にあると思います。日本語はこのオノマトペアが異常に発達した言語で、マンガではふんだんに使われていますが、エスペラントを含むヨーロッパ語には存在しない例がたくさんあります。たとえば、不気味な静けさを強調するために「シーン」ということば。厳密にはオノマトペアではありませんが、マンガではよく使われます。これに該当するオノマトペアはエスペラントにもポーランド語にもないのではないかでしょうか？では、単に *silento* として良いのか、という問題があります。

結局、自分のエスペラントのレベルでは日本語のオノマトペアはとても対応できない、というのが実際で、最近はオノマトペアが使われている状況を説明し、それを相手が適当なポーランド語に置き換えてくれるようにしています。



左から、家内のアレクサン德拉、谷口さん、谷口マルティーナさん。マルティーナが職場のエスペランチストのパートナーです。ご主人の谷口さんは日本レストランでお寿司を握っておられ、denaska oomotano のエスペランチストです。

マンフレッド達が来た日

山口百合子（横浜）

ドイツ人マンフレッドと結婚した育子さんの三人の子供の内的一人カリンが夫と一緒にドイツに転居することになりました。そしてマンフレッド育子夫妻とカリンと彼がねこの手ハウスに来た日が「エスペラントの歌」の日でした。

日本の歌をエスペラント訳した歌集を使っているのでマンフレッドの知らない歌が多かったのですが、美声で歌詞を詩的に読んでくれてみんなうつとり。

先日のねこの手ハウスの各種講座の発表会の時、エスペラントの歌グループとして数曲歌ったのを聞いて、すっかり感激した人がこの日初めて参加していたのですが、彼女には別世界の体験だったようです。この日お試しで参加されたのですが、継続することになりました。

その晩はマンフレッド育子夫妻が我が家に宿泊。近所に住むねこの手エスペラントの人とわが夫と一緒に食事をしながら遅くまで談笑。ドイツの原発事情や政治と日本の現状を比べての話が延々と夜中まで続きました。



筆者は前列の左から2人目、マンフレッドさんは後列の左から5人目

中国四国エスペラント大会に参加して

糸島 治（岡山）

2011年11月12日、13日に開催された第12回中国四国エスペラント大会に参加しました。今回は岡山県総社市で開催されました。

中国四国地域でのエスペラント大会は1963年ごろから開催されていたようですが、数年で中断してしまったようです。そして、1998年に岡山県の蒜山で有志が集まってエスペラントの会合を持たれ、これを第1回の中国四国エスペラント大会として、以後、各県のエスペラント会が持ち回りで、毎年開催されているそうです。初日の12日は11時に倉敷駅から観光バスで、半日コースで吉備路観光をしました。参加者は約30名です。私はバスの後を自家用車について回りました。

最初に室町時代に活躍した画聖雪舟が少年時代に修業した井山宝福寺に向かいました。実はこのお寺は私が幼稚園の遠足で訪れたお寺です。境内にある精進料理「金龜」でまず昼食を食べてから観光を開始しました。紅葉にはちょっと早かったですが、晚秋の境内には紅葉を写そうと沢山のアマチュアカメラマンが訪れていました。

次に訪れたのは備中高松城の跡です。後の豊臣秀吉が毛利方の清水宗治の守る備中高松城を水攻めしたことで知られています。実際に訪れてみると川と城跡との高低がほとんどなく、語り継がれているような大掛かりな堤防は必要なかったようです。最近の研究では河川敷に自然堤防があったので、せいぜい0.5から2m程度の土堤を100mほど築けば城の周囲は水没出来たようです。豊臣秀吉を偉人化する過程で、高さ7.3mで総延長3119mの堤防をわずか12日間で築いたと話に尾ひれがついたようです。

そこを後にして、桃太郎のモデルとも言われている吉備津日子（彦）命が祭られている吉備津神社を訪れました。ちょうど七五三の時期だったので、境内のあちこちに晴着を着てお参りしている子供たちが見受けられました。

次に、造山古墳を訪れました。全長約350mで全国で4番目の規模を誇ります。5世紀前半に造られ、約1600年後の現在までほぼ原形を保って残っています。当時の建築技術のレベルの高さに

エスペラント生活の近況

綿貫 健一郎（ポーランド/日本）

「エスペラント生活の近況」という事ですが、エスペラントで生活しているか、と言われば、たしかにその通りだと思います。ただし、日常語として必要な範囲でだらだらと使っているだけです。

もっとも多いのは話す機会です。ポーランド人のエスペランチストと結婚し、子供がいない夫婦二人だけの家庭ですので、家庭内の会話はいまでもエスペラントがメインです。

連れ合いが日本語の会話をほぼマスターし、自分もポーランド語を少しあはいい加減に覚えたのですが、ちょっと込み入った内容や夫婦喧嘩の時は、やはりエスペラントになります。テレビを観ながら、その感想をエスペラントでしゃべっている、という感じです。ただ、実際には日本語とのチャンポンが当たり前になってしまったので、エスペラントだけで話すのが、かえって苦痛になっているのも事実です。

ここ10年ほどは、日本のマンガをポーランド語で出版するという仕事をしていますが、連れ合いとともにひとりのエスペランチストの3人で始めました。そのため、エスペラントが職場での公用語という時期が数年間続きました。今は、エスペラントを話さないポーランド人スタッフが加わり、自分も多少はポーランド語を覚えたので、会社ではポーランド語を話す機会が増えました。それでも、連れ合いやパートナーと仕事の話をするときは、やはりエスペラントを使うことが多いようです。

日本のマンガは台詞の内容がかなり高度な場合が少なからずあり、日本語ができる人でもお手あげの場合があります。その際に、自分がエスペラントに訳し、連れ合いやパートナーがポーランド語に翻訳します。漫画一冊全体を自分がエスペラント訳し、それをポーランド語に再変換して出版したことでも1, 2度ありました。

ちなみに、日本語のマンガをエスペラントなり英語なりに置き換える場合の最大の難しさは、いわゆるオノマトペア（擬態語、擬声語）

ことを目指し、自分たちが中心的な働き手となって、一からやり直す」とのことです。

IJKの日本開催辞退ということは残念なことです。しかし「IJK辞退と今後」に述べられているように、現状では「その大部分が非青年である人海戦術で大会を開催することはできる」かもしれないが、主役であるはずの青年達にとって「大会準備の過程で何を得られたが、大会後に何を残せたか、という最も重要な部分が抜けて」しまうだけでなく、「大会準備に追われて疲弊したLKKメンバーがエスペラント界を去るという事態」になりかねないということであれば、やむを得ないことであるとも思います。

そして、これは決して青年層だけの問題ではなく、エスペラント界全体の問題として私達一人一人が考えていかなくてはならないことだと思います。

「元青年」の一人として私はどう考え、どう行動していくべきでしょうか。私たちの過去の経験を青年層に伝え、その活動を支援・指導していくというような思い上がった発想は持つべきではないと私は思っています。私たちが後継者育成に失敗したことが、今の青年層が苦しい状況におかれている原因のひとつになっていると思います。そして私達が青年だった時代よりはるかに少ない人数であるにもかかわらず、彼らは自分たちで道を切り開こうとしています。

彼らを支援・指導しようなどと考える前に、今の私達が私達自身ができる事、そしてしなければならないことをしっかりとやっているかどうかを見つめ直すべきではないでしょうか。

「学習」「普及」「実用化」に取り組み、自立した意識的エスペランティストとして自らを成長させ、エスペラントの社会的意義をきちんと一般社会に伝えていく。そういうエスペラント運動の原点に立ち返って自ら行動していく。それが結果的に青年層の活動の支援にもつながるものと信じています。

(終)

は驚かされます。この古墳を造成するには現在のお金で約200億円以上の費用と、のべ150万人以上が動員されたと試算されているそうです。

最後に、備中国分寺を訪れ、大会会場のサンロード吉備路に向かいました。私は、会場には宿泊しないで自宅に戻りました。地元にいながら、ほとんど訪れる事のなかった身近な観光地を訪れ、その歴史と文化に触れる貴重な1日でした。

吉備路観光は栗井弘二先生を中心に観光地の資料作成や案内をしていただきました。

吉備津神社にて



備中国分寺にて



筆者は前列の右から2人目

2日目は国民宿舎サンロード吉備路で9時にLa Espero斉唱で大会が始まりました。小坂賞を受賞した忍岡夫妻の記念講演、香川のスワニーの語学講師のアティリオさんの「来日して経験した文化の違い」の講演、岡部明海さんの世界青年エスペラント大会の紹介および参加の呼びかけ、山陽女子学園の中学生による活動の報告が午前中にはありました。後日、残念なことに2012年日本で開催予定だった青年エスペラント大会は日本側の事務局の力量不足で、開催返上のニュースが飛び込んできました。

昼食後、私は番組Aに参加しました。荒井さんのウクライナ自転車旅行の話、世界大会、盲人エスペラント大会、日韓合同エスペラント大会の報告、デンマーク家庭訪問の話がありました。最後は香川のスワニー会長の三好悦郎さんの長年のエスペラント普及活動の功績によるポーランド政府からの勲章授与の顛末報告がありました。最後に、次回の中国四国エスペラント大会の開催地の松山エスペラント会に大会旗が引き継がれて大会は終了しました。今回の大会は不在参加16名を含め、約70名の参加がありました。

この大会で、岡山RHの大先輩の田井（旧姓日笠）恵美子さんに偶然お会いすることが出来たのが、私にとっては最大の収穫だったかもしれません。



大会集合写真

(終)

「元青年」がすべきこと — IJK 日本開催辞退を受けて

今泉 久典（岩手）

昨年末に編集部より寄稿依頼をいただいてテーマ等を考えていたときにショックなニュースが飛び込んできました。2012年8月に奈良県天理市で開催される予定だった第68回国際青年エスペラント大会（IJK68）について、開催地組織委員会（LKK）が日本での開催辞退を決断、IJK主催者である世界青年エスペラント機構（TEJO）に申し入れ受諾されたというのです。2011年12月27日、LKKを主に担っていた日本青年エスペラント連絡会（JEF）のメーリングリストにLKK天野弥生代表のメッセージという形で第1報が伝えられ、その後、12月30日付でIJK68のホームページ（http://www.ijk2012.org/index_ja.html）に天野代表の「2012年のIJK68日本開催辞退と今後に向けて」（以下「IJK辞退と今後」と略）が掲載されました。それを読んで今、考えていることを書かせていただきたいと思います。

IJK68の日本開催については、2010年12月にJEFが沖縄で開催したいと立候補し承認されたことから、LKKがJEF会員以外も含める形で組織されました。その後、開催地が奈良県天理市に変更されましたが、開催に向けての準備が進んでいるものと思っていたのですが・・・。

「IJK辞退と今後」によれば、「それまでのIJK準備の進行状況に危機感を持ったLKKメンバーが、LKK内でIJK辞退か代表交代かを提案」、緊急会議が開かれた結果、「それまでLKKに関わりのなかった」天野弥生さんが2011年11月5日に新代表になり、「これまでに準備されたことやこれから必要な作業、本来なら立候補前に検討しなければいけなかつた各種の条件、日本の若いエスペラント士の数や状況などを見直し」等を行い、総合的に再検討した結果、「語学力、行事組織経験、社会知識のどれを取っても、現在のLKKにはIJKを組織するのに必要な技量がまったく備わっていないと判断」したことです。ただ、IJK開催を放棄したのではなく、「2、3年後に日本でIJKを開催する